

第1回かわさきコンパクト委員会 議事録

日 時：2017年6月5日（月）9時30分～11時

場 所：川崎市役所第3庁舎18階 第1会議室

出席者：〔委員〕小倉、庄司、末吉、中山（欠席：瀧田）

〔川崎市〕環境局 大澤、地球環境推進室 齋藤、宮川、内田、加賀谷

〔事務局〕株式会社ダイナックス都市環境研究所 佐久間、北本、小池

1 開会

開会に先立ち、川崎市環境局大澤局長から「かわさきコンパクト（以下、「KC」とする。）をはじめ今年で10年目の節目の年となり、その間に国連でもMDGsからSDGsへとシフトしている。グローバルネットワークジャパンでもSDGsを中心に据えているため、川崎市としても庁内を巻き込みながら新たな展開を含みながら活動を進めたい。」というあいさつがあった。

2 議題

(1) 委員長及び副委員長の選出について

事務局株式会社ダイナックス都市環境研究所（以下、「事務局」とする。）によって、資料1.（かわさきコンパクト委員会の設置要項）が読み上げられ、委員長と副委員長の選出を行った。委員長に庄司委員、副委員長に瀧田委員が推薦を受け、満場一致で承認された。

以降の議事は、庄司委員長が進行した。

(2) 参加状況及び周知のための取組について

市から、資料2-1、2-2、2-3をもとに、KCへの参加状況及び周知のための取組について説明された。委員からは以下の意見があった。

- ▶ （委員）団体への参加の声かけについて、川崎市内の7区すべてに健康の森があるので、声かけも7区すべての健康の森にしてはどうか。
- ▶ （市）現在「川崎区市民健康の森 海風の森をMAZUつくる会」のみ参加しているので、他の6区の団体にも随時声かけをしていきたい。
- ▶ （委員長）コンパクトの周知について、子どもに関連した活動を行っている団体への周知はどのように検討しているのか。
- ▶ （市）資料2-2の作成にあたり庁内の関連部署に調査をしたが、子どもに関連した部署には調査を行っていなかった。人権、労働はそれぞれ庁内に推進セクションがあり、定期的に会合を開き、協力しながら関係のある団体への声かけを進めている。子どもに関連した分野へのアプローチは不足していたかと思われる。

- ▶ (委員長) 参加団体の中には子どもに関する活動に力をいれている団体もあるので、そのような団体にアプローチしてはどうか。

(3) 参加団体へのアンケートの実施結果について

事務局から、資料 3 をもとに、参加団体へのアンケートの実施結果について報告された。委員からは以下の意見があった。

- ▶ (委員) アンケートの回答をみると環境活動を中心に行っている団体が多く参加しており、今後 KC を進めるにあたり、環境分野にある程度特化せざるをえないかと思う。新たに加盟する団体も環境分野に関心があると思うので、それ以外の部分を入り口にするのは難しいのかもしれない。
- ▶ (市) 宣言を改新することにも言えるが、今後、その傾向を改めたいと思っている。これまでは環境局が KC を進めていることもあり、環境に関連した団体への声かけが多くなっていたが、人権や労働などの分野に取り組んでいる団体にも加わっていただきたいと思っている。
- ▶ (委員長) 取組の見学は、自身の団体で行っている活動を体験する形式であれば、受入候補団体の候補は増えるのではないだろうか。また、他の団体の活動を体験することが、他の団体を知るきっかけになると思う。交流会等で受入団体を追加で募集をしてみてもよいのではないか。

KC ロゴを名刺やパンフレットに載せることは進めていくべきである。企業での実施は難しいかもしれないが、市民団体では載せられる団体は多いと思われるので、どんどん提供してほしい。

- ▶ (市) 国際環境技術展などでブース出展をしている加盟団体にマークの掲出をお願いしている。イベントの際に加盟団体にマークを掲出してもらうなどの取組を行い、来場者に対する知名度の向上を図りたい。

(4) 平成 29 年度の事業計画について

事務局から、資料 4-1、4-2、4-3 をもとに、今年度のかわさきコンパクトの事業計画について提案された。委員からは以下の意見があった。

- ▶ (委員) KC のあり方を検討するのなら、中身をもう一度考え直す作業が必要である。市や KC 参加団体内でも関心が高まっているように、世界における取組はグローバル・コンパクトよりも広範囲で大きな理念が中心となっており、今後は SDGs が主力になるとと思われる。

例えば 10 年を期に KC を一度クローズして SDGs というテーマで再スタートしたり、あるいは今の KC に SDGs を組み込むといった手法が考えられる。この 1 年間を、この先の戦略を検討する 1 年にできないだろうか。

KC に参加している団体に対して一度、SDGs との関連をどう思うかであったり、現状の KC のままがよいか、SDGs に鞍替えしたほうがよいかなどの意識調査を行ってみてはどうか。

環境問題に限らず、地球市民の一人として生きていくうえで考えなければならぬ問題点が SDGs で網羅されており、これからの十数年で、中心的な考え方になっていくのではないかと。

- (委員) KC の活動を 10 年間やってきたが、なかなか活動の広がりが増えない。SDGs のように、一般的に広く認知されている言葉を使っていくのはよい。これまでの KC の取組をふまえて SDGs へと発展させていきたい。
- (委員) 時流に合わせた形で進化を求めることは正しい姿だと思う。
- (委員長) これまでの参加団体にきちんと伝える場を設け、了解をもらうことが大事である。市がどれだけ SDGs に取り組むかにもよる。
- (市) SDGs については、先日、副市長から職員向けの研修の中でも触れており、市としても取り組むことには大賛成である。まだ全職員への理解は深まっていないが、どのような形で推進していくかは、庁内で検討が必要である。
- (委員) KC 登録団体に情報を提供したり、学習会を開催するなどの取組を早めに行ったほうがよい。
- (委員長) ぜひ市長にもご参画いただきたい。市の職員、市民にアピールしながら進めてほしい。
- (委員) 企業の対応はこの半年、1 年で大きく進歩が見られた。会社としては大きなビジネスチャンスになるが、社員の共通理解があまり進んでいない。グローバル・コンパクトから SDGs へと切り替えるよいタイミングではないだろうか。
- (市) 今後は SDGs を何らかの形で組み込むこととする。具体的な推進内容等については別途議論が必要になる。
- (委員) 早々に KC で実施するイベントなどに意識的に SDGs の要素を組み込み、グローバル・コンパクトから SDGs へと内容を組み替えてみてはどうか。あるいは KC の文字の下か上に「SDGs とともに」といった文言を挿れるなどしてはどうか。
- (委員) イベントはそこまで多くないので、交流会の段階から変えていくべきである。単なるワークショップではなく、SDGs への理解が深められる内容にすべきである。

見学の受入について、SDGs と関連付けた内容を考えてみてはどうか。イベントの広報の際にも、SDGs を関連づけることを強調して登録団体以外にも知らせたい。内輪向けのイベントで終わらずに、外部の参加者も来られるようなオープンな場にしたい。

- (委員長) 自団体の PR については、イベントの際に各参加団体に広報用資料などを持参するよう依頼すれば当日持ってくる。または、ワークショップの時間などで自団体の取組について話せるようにすればよい。
- (市) 受入団体についてはアンケート回答にあった 5 団体の他に日本理化学工業や NEC も可能性があるのではと思っている。
- (委員) NEC 玉川事業場では以前は見学の受入を行っていたが、現在は見学目的

での受入は行っていない。例えばワークショップなどの場の提供に付随して社内の省エネ施設などを短時間ご案内する程度であれば可能だと思う。

- ▶ (委員) イベントを行う際は受入先への打診は3ヶ月前、広報は2ヶ月前に実施するのが通常である。広報はこれまでも募集期間が短く、一般の人がイベントそのものを知らない状態なので、チラシの枚数を増やしてより多くの人目に届くようにした方がよい。ここまでのSDGsの議論も踏まえ、今年はどんどん外部に向けて動きかけをしてほしい。
- ▶ (市) 交流会については、7月中旬でスケジュールを設定していたが、広報面、受け入れ先との協議のことを踏まえて開催時期を検討したい。
- ▶ (委員) 見学会を行うならば、見学をメインとしてはどうか。あまりコンテンツを詰めずに見学のみを行い、最後に多少の意見交換をするぐらいのほうがいいのではないか。
- ▶ (事務局) 例えば見学会ではSDGsに対する参加者の意識に触れるくらいにして、秋のセミナーでSDGsに深く学ぶ手法も考えられる。
- ▶ (市) 昨年市民文化局で地域社会貢献フォーラムというイベントを行っており、KCとの親和性も非常に高いため共催で実施した。昨年はかわさきコンパクトの紹介を行ったが、今年度は開催の規模を拡大するので、SDGsのセミナーを連動して行うことも考えられる。
- ▶ (委員) 情報発信は、4月に川崎市の協働・連携ポータルサイト「つながっどKAWASAKI」がオープンしているので、うまく活用すれば今まで参加していない団体への周知も行なえるのではないかと。

(5) かわさきコンパクトの活性化に向けた原則・宣言の改新について

事務局から、資料5をもとに、KCの活性化に向けた原則・宣言の改新案が説明されたが、先の議論を踏まえ、次回以降の委員会で改めてKCのあり方について提案することとなった。

3 事務連絡

市から参考資料について説明を行った。

次回委員会日程については、11月開催を予定し、具体的な日程は別途メールで調整することとなった。

4 閉会